

# 国語科学習指導案

令和8年6月12日(金) 学習指導Ⅲ 第1学年2組(1年WS) 指導者 中島 璃子  
松永 佳望央

【単元】「好きなこと はっぴょうかい」を しよう (『好きな こと、なかに』光村図書1年上)

考察	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることについての知識及び技能 ((1)ア)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近なことや経験したことなどから話題を決め伝え合うために必要な事柄を選ぶ能力 (A(1)ア)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉がもつよさを感じるとともに、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度</li> </ul>
子どもの実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的に言葉を使用し、自分が考えたことや気持ちを伝えている。</li> <li>日常的に使用している言葉には、そのときの気持ちを含めて自分が経験したことを伝える働きがあることへの理解に弱さがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>そのときの気持ちを含めて学校で経験したことなどを友達と話すことができる。</li> <li>そのときの気持ちを含めて自分が経験したことを伝える際に、相手に伝わりやすいように様々な事柄を具体的に想起し、その中から必要な話題に絞ることに弱さがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉によって、そのときの気持ちを含めて自分が経験したことを伝えようとしている。</li> <li>友達と、そのときの気持ちを含めて自分が経験したことなどを伝え合うおもしろさを感じているとは言えない。</li> </ul>
価値	<ul style="list-style-type: none"> <li>本単元における言語活動は、自分の好きなことを紹介したり友達の好きなことの紹介を聞いて感想を伝えたりする活動である。好きなことについては、学校内だけでなく学校外での遊びなども含めて紹介し合うことで、小学校生活の中では知ることのできない友達の新たな一面に気付いたり、友達について詳しく知ったりできる。そのため、小学校生活にだんだんと慣れ、多くの友達との関わりが増えてきた1年生にとって魅力的な活動である。子どもたちは、自分の好きなことは様々に思い付き、答えることができる。しかし、好きな理由が「楽しいから」「おもしろいから」などの抽象的なものに終わらず、「鬼ごっこで友達から逃げるところがおもしろいから」などと具体的に答えることは難しい。それは、子どもたちの中で好きな理由が具体的に想起できておらず、言葉にできていないからである。そこで、子どもたちは自分の好きなことやその理由について友達と話したり、好きなことをしているところを絵に描いて表したり、実際にやってみたりする。そして、友達の話を知ったり、友達の描いた絵や実際にやっている様子を見たりして、気になったことを互いに質問し合う。そうすることで、子どもたちは好きなこととその理由を具体的に想起し言葉にできる。また、想起した複数の事柄の中から発表に必要な話題に絞り、言葉にして紹介し合うことは、好きなことを言葉によって伝えられたという達成感につながる。さらに、発表を通して友達の新たな一面に気付いたり、友達について詳しく知ったりすることで、自分たちが経験したことを伝え合うおもしろさを感じることに繋がる。</li> <li>好きなことやその理由について友達と話したり、友達の話を知って質問したり、発表の感想を伝え合ったりすることは、自他の言葉に着目するため、話し手は、自分の伝えなかったことが友達に伝わったという実感をもて、聞き手は、話を聞いて友達のことがよく知れたという実感をもてる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好きなことやその理由について友達と話したり、絵に描いて表したり、実際にやってみたりすることは、自分が経験した気持ちやその場面に着目するため、自分の好きなことやその理由を具体的に想起できるとともに、自分の伝えたい思いを手掛かりに、発表したい順序を付けながら、友達に自分の好きなことやその理由を伝えるために必要な話題に絞れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好きなことやその理由について具体的に想起して友達に紹介したり、発表の感想を伝え合ったりすることは友達の新たな一面に着目するため、自分たちの経験を伝え合うことを楽しみ具体的に想起できたことを実感するとともに、友達と伝え合うおもしろさを感じることに繋がる。</li> </ul>
見方・考え	自分の好きなことと言葉、言葉と言葉との関係を捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること。		
今後の学習	「みんなに はなそう (『みんなに しらせよう』光村図書1年上)」において、夏休みに経験したことを友達に知らせるために、夏休みにしたことの中から紹介する事柄を決め、声の大きさや速さなどを工夫して発表する活動へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	身近なことや経験したことから自分の好きなこととその理由を具体的に想起し、紹介することができる。			
議題	自分の好きなことを紹介したり友達の好きなことの紹介を聞いて感想を伝えたりする活動			
評価 規準	(①知・技)言葉には、事柄の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(1)ア) (②思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 (A(1)ア) (③主体的態度)進んで自分の伝えたいことを具体的に想起し、これまでの学習を生かして自分が好きなものとその理由を紹介しようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点 評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
つか か む	1	○自分の好きなことを想起したり教師の発表を聞いたりして、学習課題をつかむ。 学習課題 「好きなこと発表会」で、自分の好きなことを友達に詳しく話してもっと仲よくなる。	○自分の好きなことを想起できるように、「好きな遊び」「好きな食べ物」「好きな場所」などの視点を提示する。  ○自分の好きなことを具体的に話すために必要な事柄に気付けるように、好きなことだけを発表した場面と、好きなこととその理由を発表した場面とを比較する機会を設定する。	◇自分の好きなことについて発言している。 <発言①>  ◇自分の好きなことを詳しく知ってもらうための紹介に必要な事柄について発言している。 <発言②>
	1	○学習計画を立て、自分の好きなことを詳しく知ってもらうための紹介に必要な事柄を考える。		
ふ か め る	2	○自分の好きなこととその理由を具体的に想起し、友達に伝える。 (本時2/2時間目)	○自分の好きなことやその理由について、自分の選択した方法で具体的に想起できるように「おはなしすべえす」「おえかきすべえす」「じゅうすべえす」を設定する。	◇自分の選択した方法で想起した自分の好きなことやその理由について、発言したり絵や動きで表したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
	1	○想起したもののの中から必要な話題に絞り発表の練習をする。	○発表したい順序を考え、必要な話題に絞れるように、「好きなこと」と「その理由」という観点と、「どうしてか」というと、「なぜか」という話題を提示する。	◇好きなことについて一つに話題を絞り、発表の練習をしている。 <発言・学習プリント②>
え ふ り か	2	○「好きなこと はっぴょうかい」をして感想を伝え合い、単元全体の学習を振り返る。	○友達の発表のよさや、自分が好きなことについて詳しく発表できた実感を味わえるように「新しく知ったこと」「詳しくお話しするために大切なこと」の感想の視点を提示する。	◇友達の発表を聞いて、新たに気付いた友達の一面について話したり、具体的に想起するために大切なことについて発言したり記述したりしている。<発表・学習プリント①②③>

**本時の学習（4／7時間目）**

ねらい 友達の好きなことやその理由について質問したり、絵に表したり、実際にやってみたりすることを通して、自分の好きなこととその理由について具体的に想起し、友達に伝えることができる。

評価規準 自分の選択した方法で想起した自分の好きなことやその理由について、発言したり絵や動きで表したりしている。

<発言・学習プリント①②③>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p><b>1 本時のめあてをつかむ。</b></p> <p>・前時では、「おはなしすべえす」で友達と公園で遊ぶことが楽しいという話をしたな。その中で、鬼ごっこや鉄棒、滑り台で遊ぶことが楽しいという話をしたよ。今日は発表会で詳しく話せるように、公園でする好きな遊びについて詳しく思い出したいな。（目的意識）</p>	<p>○「1の2 すきなこと はっぴょうかい」で詳しく発表するためには、自分の好きなことやその理由について具体的に想起する必要があるということに気付けるように、前時の学習を振り返り、本時に取り組みたいことを問いかける。</p>
<p>めあて：自分の好きなことやその理由を詳しく思い出そう</p>	
<p><b>2 自分の選択した方法で好きなことやその理由について想起する。</b></p> <p>・今日も「おはなしすべえす」に行き、公園で遊ぶことが楽しいという話の続きをしてみよう。鬼ごっこや鉄棒、滑り台以外の話もしたいな。</p> <p>・友達と、ブランコに乗って遊ぶことも楽しいという話をしたよ。私はブランコが好きだから、もっと思い出すために、今度は「おえかきすべえす」に行き、ブランコに乗っているときの絵を描いてみよう。</p> <p>・「おえかきすべえす」では、ブランコの絵を描きながら、高くて速いところが好きだと思いつけたよ。もう一度「おはなしすべえす」に行き公園で遊ぶことが好きな友達を見つけてお話ししたいな。</p> <p>・「おえかきすべえす」で友達が、大きい滑り台で滑っているところを絵に描いていたので、「どうして滑り台が好きなの」と聞いたら、「高いところから滑ると速くて楽しいから」と教えてくれたよ。ブランコも高くて速いところがあって似ているところがあるな。</p> <p>・今度は、鬼ごっこをすることが好きな友達に、「どうして鬼ごっこが好きななの」と聞いたら「友達と一緒に遊べて楽しいから」と教えてくれたよ。確かに、私も友達と一緒にブランコの高さの競争をしたとき、高いところまでいけるように頑張ったのがとても楽しかったな。</p> <p>・最初は、公園で遊ぶことが楽しいということしか話せなかったけれど絵を描いたり友達に質問したりしたら、ブランコで高さの競争をすることが好きだと思いつくことができたよ。（目的を達成した意識）</p>	<p>○自分で方法を選択し、好きなことやその理由について想起するという見通しをもてるように、想起する方法ごとに異なる場を設け、それぞれの場で取り組みたいことを問いかける。</p> <p>○友達と会話が續かない子どもが、自分の好きなことやその理由を具体的に想起するきっかけを得られるように、好きなことを問いかけ、「おえかきすべえす」で絵に表したり、「じゆうすべえす」で動きを表したりするよう助言する。</p> <p>○絵や動きで表している子どもが、別の友達と話して好きなことやその理由を言葉にできるように、「おえかきすべえす」「じゆうすべえす」で活動している子どもに進捗状況を問いかけ、「おはなしすべえす」で友達に話すよう助言する。</p> <p>○友達に質問することで、友達や自分が好きなことやその理由について具体的に想起できることに気付けるように、「どうして好きなの」「もっと詳しく教えて」などの質問カードを提示し、使い方を例示する。</p> <p>○「おはなしすべえす」で互いの好きなことやその理由を聞き合い、理由を具体的に想起できるように、友達の発言の感想を伝えたり、友達に質問したりしている子どもを称賛する。</p> <p>○友達と話したり、絵に表したり、実際にやってみたりしたことで、自分の好きなことやその理由について具体的に想起できたという実感をもてるように、本時で選択した想起する方法とその方法でできたことを、友達と共有するよう促す。</p>
<p><b>3 本時の学習の振り返りをする。</b></p> <p>・今日は、ブランコの高くて速いところと、友達と高さを競争することが楽しいと思いつけたから◎だな。好きなことについて詳しく思いつけたから、今度は思いつけたことを使って、発表の準備を頑張りたいな。</p>	<p>○本時の学習の達成感を実感し、次時の見通しをもてるように、「思いつけた度」を◎○△の項目で振り返る機会を設け、「次に取り組みたいこと」を問いかける。</p>